

介護サービスの整備状況

前回に続き、上海市保健委員会や統計局が昨年未に発表した統計をみてみましょう。

上海市において、都市部労働者の基礎年金を受給している60歳以上高齢者は434万2900人

(高齢者人口の81・4%)、農村部では50万6400人(高齢者人口の9・5%)となっております、1割弱の高齢者は基礎年金未加入です。

また上海市では60歳以上の土地立退き者を対象とした年金があります

が、その受給者は12万5000人(高齢者人口の2・4%)。生活保護受給者は2万1100人

(高齢者人口の0・4%)

です。そして数年前から話題となっている長期介護保険の利用者は56万4000人(高齢者人口の10・6%)に留まります。

次に、市内の介護施設サービス等の整備状況についてみてみましょう。

●養老院729施設(昨対比+3・6%/15万7000床)

●ケアハウス204施設(5838床)

●デイサービス758施設(月平均利用者数1万5000人)

●配食サービス1232カ所(昨対比+18・8%/月平均利用者数12万人)

●市区サービス259組

織

介護予防への意識高まる

●高齢者総合コミュニケーションセンター320カ所

●高齢者専用の医療機関67カ所(昨対比+21・4%/1万9600床)

●高齢者協会160団体

●高齢者に関する法律援助案件1077件(昨対比+23・8%)

高齢者基金の純資産は、2020年末まで3億7600元(1元=17円)となりました。支出は3002万6600元でしたが、年間募金額は6582万7400元集まっています。

市内には高齢者向けスポーツ協会が175団体ありですが、参加者数は35万6000人にのぼります。中国では国内人口が50年ぶりに減少に転じ、少子高齢化が加速しているなか、介護施設整備が急務であり国民も健康であり続けるための介護予防の意識が高まっています。

すると実感します。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理 稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。